

1 女性解放における性行為の位置づけ	問題の射程	-----	1
1.1 「性解放」は実現したか？		-----	1
1.2 「性」に関する概念の歴史		-----	4
・ 「性別」と「セクシュアリティ」		-----	4
・ セクシュアリティ概念の変容		-----	6
1.3 わが国における性行為の認識		-----	7
・ 性認識変容の概観		-----	7
・ 年齢と性		-----	10
1.4 女性解放のミッシング・リング		-----	11
2 女性に対する性行為の言説		-----	15
2.1 女性と性行為の関係への言及		-----	15
・ フェミニズムとジェンダー研究		-----	15
・ 性行為に対する議論		-----	16
2.2 男性中心主義と女性の身体		-----	20
・ 男性中心主義とは		-----	20
・ 男性中心主義の形成背景		-----	21
・ 身体性のある人間への変容		-----	23
・ 男性中心主義からの脱却としての身体		-----	25
2.3 性行為における人格概念		-----	28
・ 「性＝人格論」の成立背景		-----	28
・ 人格の誕生とその歴史		-----	30
・ 人格概念の基盤とその実践的性格		-----	32
・ 性と人格の関係		-----	33
3 性行為と自己の諸相		-----	35
3.1 性交と自己		-----	35
・ 性交と性行為		-----	35
・ 文学における性行為と自己		-----	36
3.2 「自己」概念の意味と変容		-----	44
・ 「自己」とは何か？		-----	44
・ 身体の中の自己		-----	46
・ 自己の分類		-----	48
3.3 性交における女性の自己		-----	49

・ 性交に伴う自己の変容	-----	49
・ 性交における権力	-----	54
・ 新しい自己モデル	-----	56
4 性行為における性差別	-----	59
4.1 性行為へ至る過程のジェンダー差	-----	59
・ セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）	-----	59
・ デートレイプ	-----	61
4.2 性行為へ至る手続きでのジェンダー差	-----	63
・ 性の自己決定	-----	63
・ 生殖の自己決定	-----	64
5 性における多様性の不在	-----	70
5.1 性規範の変遷	-----	71
・ 女性への性の人格批判	-----	72
5.2 性的スキャンダルの現状	-----	74
・ 性的スキャンダルの具体例	-----	79
・ 本記事における人格批判の特徴	-----	85
5.3 性における人格批判と性の多様性	-----	86
6 人権のありか	-----	88
6.1 近代的人権の形成	-----	88
6.2 女性の人権の位置づけ	-----	88
・ 女性の参政権の展開	-----	88
・ 「女性の権利」と「人権」	-----	92
・ 憲法と人権	-----	93
6.3 身体と人権の関係	-----	95
・ バイオエシックスという新たな思想	-----	95
・ バイオエシックスの理念	-----	97
・ バイオエシックスにおける人権概念	-----	99
・ 新たな思考体系	-----	98
6.4 身体差を越えた「人権」の形成	-----	101

7 女性の身体と人権 新しい人間観への転換	105
7.1 身体を内包した人間観への取り組み	105
・ 環境に埋め込まれた身体	105
7.2 新たな人間観からの女性解放運動	106
註	109
あとがき	121
参考文献	123
巻末資料	